

日本放射線腫瘍学会第37回学術大会 アフタヌーンセミナー

11月21日(木) 14:45~15:45
パシフィコ横浜ノース 第2会場(G301+G302)

座長：山下 英臣 先生

東京大学医学部附属病院 放射線科

講演①「当センターにおける高精度放射線治療の取り組み ~Elekta Linacの可能性~」

白井 克幸 先生 自治医科大学部附属病院 放射線治療科 /

自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科

講演②「VersaHD 多様性と Harmony 調和~患者に合わせた治療選択肢~」

高橋 侑大 先生 自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線医学物理室

白井 克幸 先生 ご講演要旨

当センターでは2017年にVersaHD、2024年Harmonyを導入し、その高性能な機能を余すことなく活用できるようスタッフ一同協力して診療を行っています。IMRTや定位放射線治療といった高精度放射線治療はもちろん、最近ではVMAT-CSI、VMAT-TBI、SGRTを用いた皮膚マーカーレス、DIBHについて積極的に取り組んでいます。

当センターでの高精度放射線治療のワークフローやエレクタソリューションを用いた運用方法などご紹介させていただければと思います。

高橋 侑大 先生 ご講演要旨

患者の治療意思決定や個別化医療が尊重されるようになってきた現代において、私たちがとるべきアプローチは为什么呢。

当院ではElekta Versa HDとHarmonyを導入し臨床稼働しています。私たちはこれらを適切に使い分け、またエレクタソリューションを活用した治療選択肢を用意し、施設としてのTreatment capabilityを底上げしていくことが、大切なことであると感じています。

本セミナーでは、当院でVersa HDとHarmonyをどのように使い分けているのか、またどのような治療技術を用いているのかなどに焦点を当て、実体験と目標を踏まえながら、リアルなElekta治療環境をご紹介させて頂こうと思います。